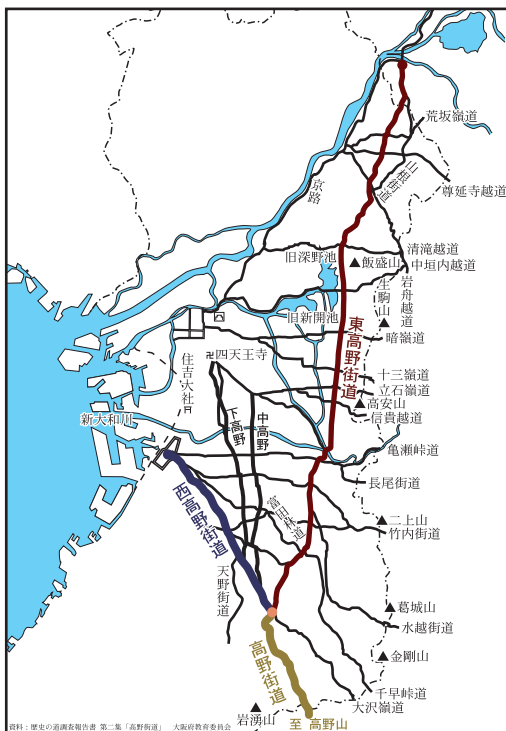


西高野街道・高野街道と交わる街道（大阪府）



しるべくん

街道を楽しく、元氣良く、歩くことをイメージした「しるべくん」です。



表紙の写真

- ①堺市 関茶屋
- ②河内長野市 原町
- ③河内長野市 天見
- ④堺市 中茶屋
- ⑤河内長野市 清明塚

お問い合わせは

■大阪府 都市整備部交通道路室
道路整備課交通計画グループ TEL. 06-6943-9445



環境に配慮し、古紙配合率100%の再生紙及び大型インキを使用しています。



堺と高野山を結ぶ街道

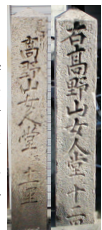
堺から大阪狭山、河内長野を抜けて和歌山へ

高野山への参詣道

西高野街道は途中で中高野街道と合流し、その後、河内長野で東高野街道と合流し一本の街道となります。一本となった高野街道は、三日月から紀見峠の峠を越え、橋本を経て「高野女人堂」に向かいます。高野詣のために高野山へ歩いて行く「高野参拝道」のうち、重要な港町として発展する中世以降、堺を起点とする西高野街道は、高野参詣の本道として「高野道」と呼ばれ、多くの人が往来しました。

高野山女人堂への出発点・堺から歩く

堺の大小路と大道筋の交差点を起点として、東に少し進んだ竹内街道との分岐に「是より高野山女人堂江十三里」と刻された里程石があります。この里程石は、街道沿いの河内茶葉木村（現大阪狭山市）の農民小左衛門と五兵衛が発起人となり、堺市榎元町の十三里石から高野町神谷の一里石までの13本を安政4年（1857）2月から9月にかけて建立した道標と言われています。



里程石

古の旅人の賑わいを感じながら歩く

十二里石のある関茶屋には、茶屋があったことが地名の由来となっています。旅人の休息の場として賑わっていた面影を今も感じられます。



関茶屋のまちなみ

街道と合流・分岐する西高野街道

堺市と大阪狭山市との市境界の緩やかな上り坂の街道を進み、府道堺狭山線の岩室の交差点を横断すると、天野街道との分岐点にさしかかります。その分かれ道を左に進むと少し視界が広がる急な下り坂と池の前に出ます。この坂を下ると、おわり坂の交差点で下高野街道につながる道と合流します。そして、しばらく歩



道標

くと次は中高野街道と合流し、さらに進むと河内長野駅前で東高野街道と合流します。

易や陰陽道としての街道

中高野街道と合流した後、緩やかな坂道を歩くと、原町に清明塚があります。平安時代、安倍晴明という陰陽師（おんみょうじ=占いやお祈りを職業とする人のこと）が易や陰陽道（=現在でいう占いのこと）の本を埋めた場所であると伝えられています。かつては当地にお堂があり、昭和30年代にお堂の再建を願う周辺の人々の寄進で現在の石碑が建てられました。



清明塚への街道

西高野街道、東高野街道、高野街道の合流点

河内長野駅に近づくとアーケードのある商店街があります。その商店街を抜けた出口に、平成18年3月に設置された高野街道を示す道標と説明板があります。この商店街のある本町周辺は、

高野街道、西高野街道、東高野街道の結節点として、古くから栄えてきた面影を今も残しています。



河内長野駅前の合流地点

峠を越えると紀州・高野山

三日月宿は、堺より七里に位置し、ここから大和や和泉国へも街道が通じています。

また、身分を問わず高野参詣だけでなく、西国三十三ヶ所詣や葛城、吉野、大峰などの修験道行場を回る人たちが利用していました。ここから紀見峠を越えて、橋本、九度山を通り高野山へ向かいます。



高野山の大門

街道マップのご利用方法

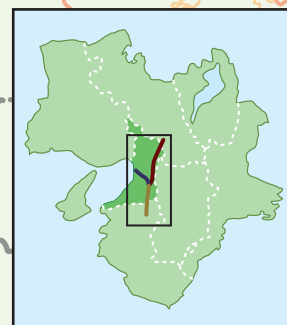
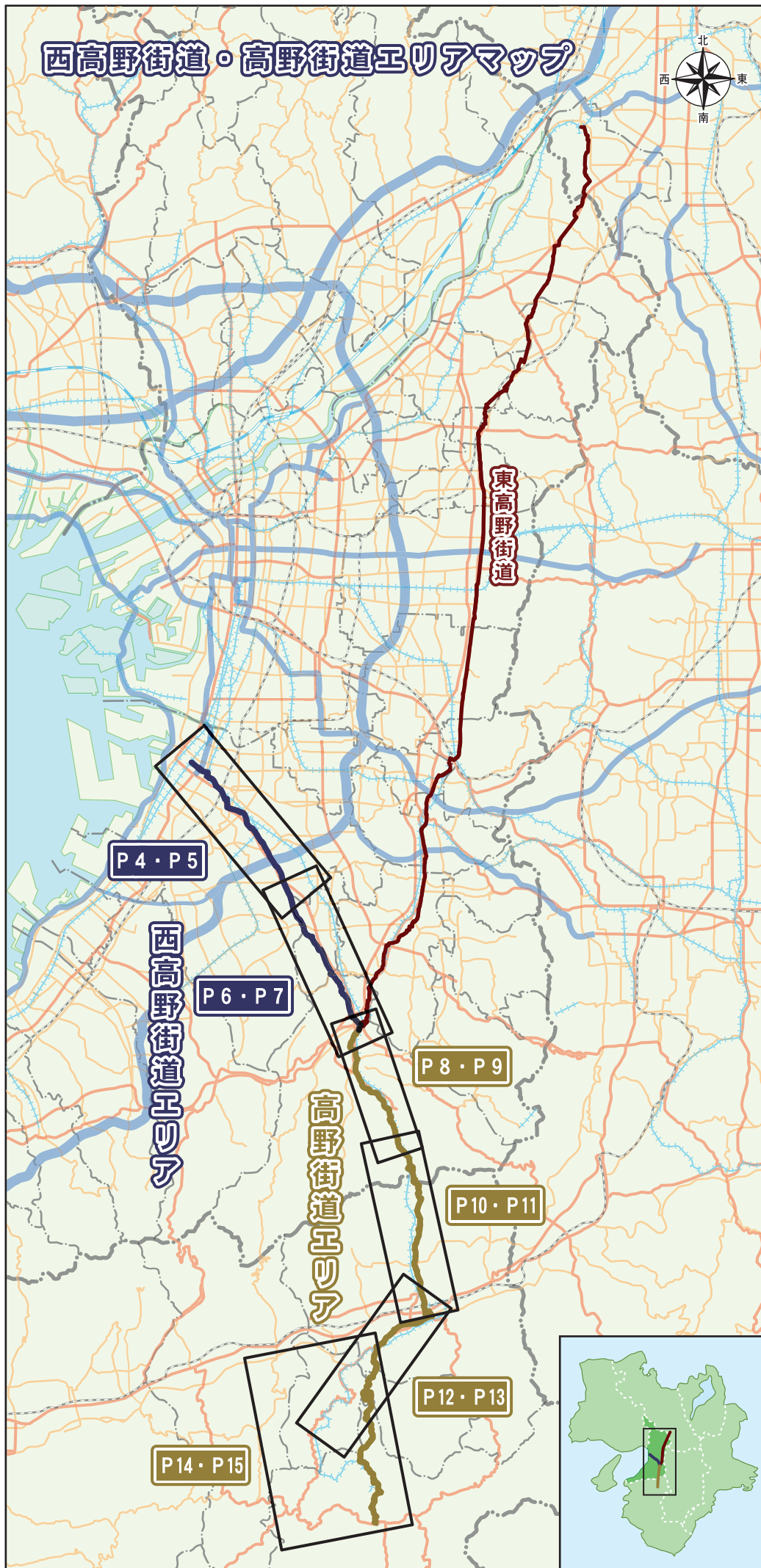
このマップは街道の歴史や見どころを知り、街道散歩をより楽しんでもらうためのものです。街道沿いにある史跡や名所のほか、休憩所やトイレなど散策中に役立つ情報も盛り込まれています。分岐点など分かりにくいポイントには詳細図もついているので、ぜひマップを片手に実際に歩いてみてください。

※各ルートで紹介している歩行距離や標準歩行時間、標準所要時間および電鉄情報は目安です。

マナーを守って楽しい散歩を

- みんなが気持ちよく散歩できるように、マナーを守り人の迷惑になる行為は慎みましょう。
- ゴミは必ず持ち帰りましょう。
- 神社仏閣などでは静かに見学しましょう。
- 喫煙マナーを守り歩きタバコはやめましょう。
- 体調に配慮し無理のない範囲で歩きましょう。
- 史跡や自然を傷つけないようにしましょう。

西高野街道・高野街道エリアマップ



さかい きたのだ
南海本線堺駅（堺市）～南海高野線北野田駅（堺市）

歩行距離 9 km
 標準歩行時間 2 時間15分
 標準所要時間 4 時間30分
（標準所要時間は観光、休憩を含めた時間）

堺市の大小路から西高野街道は始まります。堺市役所を過ぎ、竹内街道との分岐点にさしかかって、右に進むと仁徳陵古墳が見えます。余裕があるようなら仁徳陵古墳の周りを1周して、古代ロマンに触れるのも楽しいです。ここを過ぎたあたりから、関茶屋などは昔のまちなみが残っており、街道の雰囲気を感じられます。堺市内は、新しい「西高野街道」の石碑が建っており、目印には最適です。

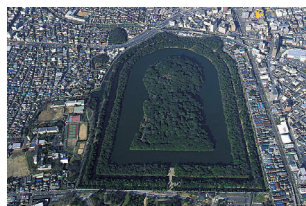


さかいしやくしょ かいてんぼう
堺市役所 2 1 階展望ロビー

地上80メートルより堺市内を一望できる回廊式ロビーです。百舌鳥古墳群の豊かな緑、大阪市街はもちろん、天気の良い日には関西国際空港や明石海峡大橋まで一望できます。
 ◇利用時間
 平日：9時～21時／土日・祝日 10時～21時
 ◇入場料：無料

にんとくりょうこふん
仁徳陵古墳

全長486m、幅（前方部）305m、総面積約464,000㎡、日本最大級の前方後円墳です。クフ王のピラミッド、秦の始皇帝陵と並ぶ世界三大墳墓といわれ、5世紀に建造されたと考えられています。古墳の周囲は全周2.8 kmの周遊路としてジョギングやウォーキングを楽しむ人の姿が多く見られます。



もず はちまんぐう
百舌鳥八幡宮

欽明天皇（532-571年）の頃に建てられたものと伝えられ、社前には大楠（大阪府指定天然記念物）があります。毎年、中秋の名月の日には、大小17基のふとん太鼓が繰り出す勇壮な月見祭が行われます。
 ◇拝観自由・無料



スタート地点までの電車情報

大阪 なんば駅	南海本線・特急 約10分	堺駅		
大阪 天王寺駅前	阪堺電車・上町線 約15分	住吉駅	阪堺電車・阪堺線 約15分	大小路駅
和歌山 橋本駅	南海高野線・急行 約34分	堺東駅		

帰りの電車情報

大阪 北野田駅	南海高野線・急行 約20分	なんば駅
和歌山 北野田駅	南海高野線・急行 約30分	橋本駅



南海高野線北野田駅(堺市)～近鉄長野線河内長野駅(河内長野市)

歩行距離 10km
標準歩行時間 2時間30分
標準所要時間 5時間
(標準所要時間とは観光、休憩を含めた時間)

堺市と大阪狭山市の市境を進むと、三叉路に建っている十一里の里程石が見つかり、岩室の交差点の横断歩道橋を渡ると、天野街道との三叉路に小さな道標が建っています。これを左に進み坂を下ると、三津屋地蔵が右手にあります。中高野街道との合流地点を進むと、右手に清明塚があり、国道170号の高架の下を通ると、もう少しで河内長野駅前、西高野街道の終点です。



狭山池

『古事記』『日本書紀』にも登場する日本最古のダム式のため池。発掘調査の結果、616年ごろに築造されたことが判明しました。昭和21年(1946年)に大阪府の「史跡・名勝」第1号に指定されました。



大阪府立狭山池博物館

狭山池の土木遺産をそのまま保存・展示。治水・かんがい土木開発の歴史をわかりやすく紹介。
◇開館時間 10時～17時
◇休館日 月曜日(祝祭日の場合は翌日) 年末年始
◇入館料/無料



大阪狭山市立郷土資料館

大阪狭山市の歴史を展示・解説。
◇開館時間 9時～17時15分
◇休館日 月曜日午後、火曜日、祝日、年末年始
◇入館料 無料



原町十三仏

当地にあった阿弥陀寺の境内の墓地にまつられていたもので、20世紀初頭の廃寺に伴い、現在の場所に安置されたと言われています。その後、付近の住民により地蔵講が作られ、当地で祀られ始めました。毎年8月に地蔵盆のまつりがあります。



スタート地点までの電車情報

大阪 なんば駅	南海高野線・急行	約20分	北野田駅
和歌山 橋本駅	南海高野線・急行	約30分	北野田駅

帰りの電車情報

大阪 河内長野駅	南海高野線・急行	約30分	なんば駅
大阪 河内長野駅	近鉄南大阪線・準急	約40分	大和府内駅
和歌山 河内長野駅	南海高野線・急行	約20分	橋本駅



かわちながの
あまみ
 南海高野線 河内長野駅 (河内長野市) ～ 南海高野線 天見駅 (河内長野市)

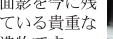
歩 行 距 離 8 km
標準歩行時間 2 時間40分
標準所要時間 5 時間20分
(標準所要時間とは観光、休憩を含めた時間)

ここから高野街道です。河内長野駅前から大きくなるまでのきの下を通り、国道371号を横断した後、坂道を上ると、緑豊かな烏帽子形八幡神社です。坂道を下ると、三市町区間です。国道371号を進むと、右手に丘陵へ続く坂道があり、下ると石仏寺があります。石仏寺からの国道は車が多く、歩道がない区間もあるので、美加の台駅から天見駅までは国道の脇道をのんびりと歩くことがおすすめです。



かわちながの
河内長野のまちなみ

河内長野駅前は、高野街道の結節点として、古くから栄えてきました。西條合資会社旧店舗主屋・土蔵は、国登録文化財の屋敷で、高野街道の面影を今に残している貴重な建造物です。



よ どしてい
吉年邸のくすのき

市指定のくすのきは、樹高約20m、幹囲約4.7m、枝張り約30mを測る巨木で、樹勢は極めて旺盛で多くの小枝を出して豊かな葉付きをみせています。



えぼしがたはちまんじんじゃ
烏帽子形八幡神社

河内長野市喜多町の西にある烏帽子形山の東山腹に社殿があります。本殿の創建は文明12年で、昔烏帽子形山とは、河内七城のひとつである烏帽子形城という城があって、その城の北の鎮護として創祀したものといわれています。



あまみ おんせん なんてんえんほんかん
天見温泉 (南天苑本館)

天見温泉にある南天苑本館は、国登録文化財であり、大浜公園（堺市）にあった娯楽保養施設「潮湯」の家族湯の建物を、昭和10年に天見温泉の開発にともなって移築されたもので、現在は、内観が一部改築されているものの、大正・昭和初期の建築様式をしのばせる温泉宿として使用されています。



スタート地点までの電車情報				
大阪 なんば	なんば駅	南海高野線・急行	約30分	河内長野
大阪 大阪阿倍野筋	大阪阿倍野筋駅	近鉄南大阪線・準急	約40分	河内長野
和歌山 和歌山	橋本駅	南海高野線・急行	約20分	河内長野
帰りの電車情報				
大阪 天王寺	天王寺駅	南海高野線・急行	約40分	なんば
大阪 天王寺	天王寺駅	南海高野線・急行	約40分	河内長野
和歌山 和歌山	天王寺駅	南海高野線・急行	約12分	橋本駅



あまみ JR和歌山線はしもと 南海高野線天見駅（河内長野市）～南海高野線橋本駅（橋本市）

歩行距離 11km
 標準歩行時間 3時間40分
 標準所要時間 7時間20分
 （標準所要時間とは観光、休憩を含めた時間）

天見駅から集落の中を抜け、一度、車の多い国道を歩きますので気をつけてください。紀見トンネルの入口手前を右に進みます。紀見峠の上りきったところが、六里石のある和歌山県の最初の宿場町です。ここから紀の川までは下り坂です。坂を下りきると、橋本の市街地に入り、さらに進むと紀の川の堤防に出ます。昔はここから対岸まで舟で渡っていました。その頃の常夜灯と四里石があります。



紀見峠

河内長野市から峠を越え、和歌山県橋本市に入り、最初の集落です。堺市の大小路橋から六里のところにあり、峠の街道脇に「高野山六里道標石」が設置されています。

国民宿舎紀伊見荘（紀伊見温泉）

金剛生駒紀泉国定公園の緑に囲まれ、テニスやます釣りができ、岩湧山・三石山への登山の拠点としても最適です。天然温泉「美人の湯」は女性客にも人気です。

橋本市まちかど博物館

呉服問屋の別邸を活用し、橋本地区を中心に歴史、町衆文化を展示しています。
 ◇開館時間 10時～16時
 ◇休館日 土日祝日

応其寺

橋本開基の恩人木喰応其（もくじきおうご）が荒れた里寺を再建したものです。
 応其上人は、高野中興の祖でもあり豊臣秀吉の紀州征伐から高野を救いました。寺に残る唐子織袈裟は秀吉の寄進といわれます。

スタート地点までの電車情報

大阪	なんば駅	南海高野線・急行 約40分	天見駅
和歌山	橋本駅	南海高野線・急行 約12分	天見駅

帰りの電車情報

大阪	橋本駅	南海高野線・急行 約50分	なんば駅
----	-----	---------------	------

JR和歌山線はしもと
南海高野線橋本駅（橋本市）～南海高野線高野下駅（九度山町）

歩行距離 8km
標準歩行時間 2時間40分
標準所要時間 5時間20分
（標準所要時間とは観光、休憩を含めた時間）

紀の川を橋本橋で渡り、右に進むと、和歌山県ふるさと建築景観賞を受賞した清水のまちなみがあります。しばらく、紀の川沿いの雰囲気のある街道を進むと、三里石のある学文路駅前に出ます。ここからハイキングコースにもなっている山登りの道です。学文路駅を左手に見ながら国道を西方向に進むと、途中九度山駅があり、さらに進むと高野山町石道があります。



清水のまちなみ

重厚な瓦屋根や格子を持つ家屋が高野街道に沿って東西に軒を連ね、高野山領最初の宿場町としての面影を今に残しています。和歌山県ふるさと建築景観賞を受賞しています。

学文路天満宮

菅原道真公を祀っており、学問の神様として尊崇を集めています。ソメイヨシノや1000度石などがあります。

学文路刘萱堂（西光寺）

石童丸の物語で知られるお堂で、出家した刘萱道心が庵を結んだところです。室内には刘萱親子一代記の物語が描かれています。また、学文路刘萱堂では、絵解きが行われたとみられ、石童丸の守刀、人魚、夜光の玉など、この信仰にかかわった品々が今も残されています。刘萱の信仰が残したこれらの資料は、高野山とのかかわりの中で、貴重な資料の一つです。



スタート地点までの電車情報		
大阪 なんば駅	南海高野線・快急 約50分	橋本駅
帰りの電車情報		
大阪 高野下駅	南海高野線・快急 約75分	なんば駅
大阪 九度山駅	南海高野線・快急 約70分	なんば駅
和歌山 高野下駅	南海高野線 約20分	橋本駅
和歌山 九度山駅	南海高野線 約15分	橋本駅



南海高野線 ^{かむろ}学文路駅 (橋本市) ~ ^{こんごうぶじ}金剛峯寺 (高野町)

歩 行 距 離	7 km
標準歩行時間	2 時間20分
標準所要時間	4 時間40分
(標準所要時間とは観光、休憩を含めた時間)	

学文路駅から東に少し戻り、坂道を上っていくと、本格的な山の中を歩くハイキングコースです。街道の途中には、石室丸の物語で知られる学文路劉雲堂があり、このあたりは、紀の川沿いの市街地を一望できます。加根を抜く、さらに坂道を上ると、静かな山の中に日本最後の仇討ちの黒石と殉難七士の墓を見つられれます。これを過ぎると、もう一息で高野街道の終点の女人堂です。



にほんさいご あだう
日本最後の仇討ち

高野山に最も近い宿場である神谷の黒石付近で、明治4年2月30日（旧暦）に仇討ちがありました。播州赤穂藩であつたお家騒動がその発端で、明治6年、政府がこの事件をきっかけに、復讐禁止令を出し仇討ちを禁じたことから日本最後の仇討ちとされています。

討たれた7人の遺体は地元の村人によって丁重に葬られ、殉難七士の墓として今も神谷地区に残されています。

によにんどう
女人堂

高野山への入口は、高野七口と言われるように、七つの入口があり明治5年に女人禁制が解かれるまで高野山に入れない女性の為に参籠所が入口にありました。現在は不動坂口の参籠所が唯一残っています。

さなだあん
真田庵

日本歴史の戦乱の中で、名将として活躍しながら、悲運の歴史をたどった真田昌幸・幸村父子の屋敷跡といわれており、その歴史が偲ばれる場所です。

せかいいいさん 世界遺産 きいさんち れいじょう さんけいどう
紀伊山地の霊場と参詣道

「高野山、熊野三山、吉野・大峯」の3つの山岳霊場と、そこにいたる「高野山町石道、熊野参詣道、大峯奥駈道」の参詣道及び周辺を取り巻く「文化的景観」が平成16年7月に世界遺産に登録されました。



慈尊院

弘法大師の母親の住居とされたところで、大師は母の没後、ここに廟を建て、弥勒菩薩を安置しました。文明6年(1474)紀の川の水害を予測して現地に移しました。世界遺産の一つです。



こうやさんちょういしみち
高野山町石道

約1200年前、弘法大師が高山野山を開いたとき、木の平塔をたてて道しるべをつくったのが九度山町の慈尊院から高山野山の町、壇上伽藍までの180m(約20km)にもなる遠程に、朽ちた木の代わりには3m30cmの花崗岩石造り五輪塔形の町石が1町(約109m)ごとには建てられました。石の下をくぐれば長生きすると伝えられる装束掛石や、押上石、鏡石など千年の歴史をもつ古道は「歴史の道として、絶好のハイキングコース」です。



スタート地点までの電車情報

大塚	なんば駅	南海高野線・快急	約65分	学芸大学
大塚	なんば駅	南海高野線・快急	約70分	九段山
大塚	なんば駅	南海高野線・快急	約82分	上古沢
大塚	なんば駅	南海高野線・快急	約87分	紀伊田川
新大塚 有楽町線	橋本駅	南海高野線	約 8分	学芸大学
新大塚 有楽町線	橋本駅	南海高野線	約13分	九段山
新大塚 有楽町線	橋本駅	南海高野線	約25分	上古沢
新大塚 有楽町線	橋本駅	南海高野線	約30分	紀伊田川

帰りの電車情報

大阪	金沢	約131分	高野山駅	約55分	梅棧駅	新緑野線 約50分	ななほ
大阪			紀伊田辺駅	南海高野線・快急	約90分		ななほ
大阪			上古沢駅	南海高野線・快急	約80分		ななほ
和歌山	金沢	約131分	高野山駅	約55分	梅棧駅	新緑野線 約50分	橋本
和歌山			紀伊田辺駅	南海高野線	約30分		橋本
和歌山			上古沢駅	南海高野線	約25分		橋本